



申5号

提出！

## 知らせ灯式によれない列車における 安全確保に向けた申し入れ

2023年8月18日、1596T列車が中央線国立駅到着時に一部ドアが開扉しない事象が発生し、乗務員が処置をしたところ開扉しました。その後、同ドアが閉扉しなくなったことから、同駅から同ドアを緊締幕添乗の処置が実施され、同列車は回送扱いになりました。回送扱いを実施する際には、一部ドアが閉扉しないことにより知らせ灯式によれないため、非連動運転となりました。

非連動運転時には車掌の出発合図を受け発車する取り扱いになっているにも関わらず、同列車では列車防護係員の省略が通告されましたが、現在そのような取扱いは乗務員に対して周知・教育されていません。これは、南武線での非連動運転時に車掌からの出発合図を受けずに発車してしまった事象を契機に取り扱いが変わった教訓をも反故にするものであり、安全を脅かす看過できない事象であると言えます。

従って、下記の通り申し入れました。



1. 国立駅で発生した事象の経過と原因を具体的に示すこと。また、今回の事象で、知らせ灯式によれない列車における回送扱い実施時に列車防護係員を省略する判断をした根拠についても示すこと。
2. 知らせ灯式によれない列車を本線上で走行させる場合は、安全確保のため列車防護係員を必ず乗務させること。